



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和4年2月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

「激変の時代を生き抜く力を育む」

教頭 安田 陽子

12月に今年度後期の学校評価を保護者の方々にしていただきました。

重点目標である「主体的に考え、互いに伸びようとする子供の育成」に向けたアクションプラン
①聞いて考える力を育てる。②思いやりの心を育てる。③体力の向上を図る。の三つの柱については、それぞれ①94.1%→73.2%②94.1%→75.6%③90.2%→87.8%と1学期と比べるといずれも低い評価となってしまいました。

また、①「家庭学習の習慣化」②「自分に対する自信」③「規律ある生活習慣」④「ゲーム、SNSの約束時間を守る」の4項目についても、それぞれ①61.8%→60.9%②79.3%→60.9%③66.5%→58.5%④56.3%→43.9%と、低い結果となりました。これらの項目は、学校の指導だけでは限界があり、保護者の皆様と目標を共有して取り組むことが大切だと改めて感じました。

先日の突然の感染の広まりに伴う臨時休業中、教員一人一人が、感染リスクを避けつつ、子供達に「共に何かを作り上げる喜び」や「折り合いをつけながら取り組む大切さ」をどうしたら感じさせることができるか真剣に考えました。一人1台端末を最大限に利用するためには乗り越えなければならない問題が山積でした。情報を取捨選択する力や危険性を1年生にも6年生にも伝えるだけでなく、理解させなければ意味がないと考え、どのようにしたらよいか試行錯誤の連続でした。臨時休業中は、担任が児童の発達段階に合わせて考えたオンライン授業に取り組みました。「Sky menu」で課題を出して提出する学習を行った学年、「Teams」で読み聞かせやクイズをして不安感を和らげながらもタブレットを自分の力で使える力を身に付けさせようとした学年。私たち教職員一同は、世の中の変化に対応できる子供を育てたいと励んでおります。

今回いただいた学校評価の課題を「学びのチャンス」と捉え、教育活動を粘り強く続けていきます。改めてご理解とご協力を賜りますようお願い致します。



研究のまとめ

研究主任 嶋田 光亨

本校では、今年度の研究主題を「人・もの・ことと関わり合って自分の考えをもち、主体的に表現しようとする子供の育成を目指して」—子供たちが興味・関心を生かして、主体的に取り組むことのできる支援の在り方—とし、次の3点を大切に研修に取り組みました。

- | |
|--|
| ① 子供が興味や関心をもち、主体的に学ぶことができるように学習課題を工夫すること |
| ② 子供が自分の考えをもち、練り上げることができるように学習過程を工夫すること |
| ③ 子供が学んだことを整理するためのまとめ方と、学習を振り返る場を工夫すること |

① 興味や関心を高める工夫について

それぞれの立場を考えるロールプレイ
4年道徳科「よい友だちになるために」

子供たちが話に出てくる登場人物になりきって演技したことで、その場面の登場人物の立場と気持ちについて、自分事として捉え、学びを深めることができました。

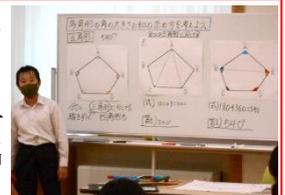


役割演技をする子供

② 考えを練り上げる場の工夫について

互いの考えを聴き合う話合いの場
5年算数科「図形の角を調べよう」

自分の考えと比べながら友達の説明を聞いたことで、子供たちは興味をもって友達の話に耳を傾け、考えの共通点と相違点を見出すことができました。



考えを説明する子供

これからも、子供たちの「～したい」という思いを大切に、みんなが目を輝かせて学びを楽しむ姿のために学習課題の設定や教師の支援を工夫していきます。また、まとめと振り返りの時間の充実を図り、子供たちの学びを次に生かせるように研修を進めていきたいと思っております。